

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	施設対策室
	施策	子育て支援の充実		電話番号	087-839-2359
	取組方針	子育て環境の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	保育所・幼稚園等施設整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	子どもが健やかに育つ環境をつくるため、施設の老朽化の状況を踏まえ、認定こども園への移行に向けた、公立保育所・幼稚園の施設整備を実施する。 待機児童の解消を図るため、幼稚園等から認定こども園への移行、私立保育所等の創設等の施設整備に対して支援を行う。 また、保育環境の改善、保育施設の保持等を図るため、私立保育所が実施する大規模修繕等の施設整備に対して支援を行う。				
年度概要	①田井・大町地区幼保一体化 ②弦打地区幼保一体化 ③大規模改修工事及び設計業務委託 ④旧浅野幼稚園解体工事 ⑤電気工作物改修				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	児童福祉法、学校教育法、子ども・子育て支

【事業の目的】

対象（何を）	・公立保育所・幼稚園・認定こども園施設 ・施設整備を実施する私立保育所等
意図（どのような状態にしたいか）	教育・保育環境の改善及び施設の保持等を図るため

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① 認定こども園整備施設数	施設	0	0	5	6	7
② 大規模修繕等実施施設数	施設	0	0	12	14	17

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	認定こども園対象児童数	人	目標値	0	0	1,233	1,328	1,493
			実績値	0	0	1,233		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	幼稚園と保育所の機能や特徴を併せ持つ施設を整備することで、地域の子育て支援が提供できた。		(目標達成度) 100.0% (得点) 35点					
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	大規模修繕実施施設対象児童数	人	目標値	0	0	1,484	1,624	1,764
			実績値	0	0	1,484		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	教育・保育環境の改善により、児童に安心安全な環境を提供できるように努めた。		(目標達成度) 100.0% (得点) 35点					

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)	
トータルコスト	[千円]	235,399	537,171	570,991	1,111,737	
	(事業費)	[千円]	220,431	523,622	557,095	1,097,841
	(職員人件費)	[千円]	14,968	13,549	13,896	13,896

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費				
令和 6 年度	①大規模改修工事及び設計業務委託 ②計画修繕工事等 ③遊具改修 ④田井・大町地区幼保一体化 ⑤電気工作物改修 ⑥トイレ改修 ⑦児童福祉施設整備事業利子補給費 ⑧その他（消耗品等）	①64,575千円 ②57,533千円 ③9,811千円 ④404,133千円 ⑤10,568千円 ⑥8,992千円 ⑦1,092千円 ⑧391千円	総額	557,095			
			特定財源	国	12,010		
				県	0		
				市債	435,900		
				他	48,000		
			一般財源	61,185			
			令和 7 年度	①田井・大町地区幼保一体化 ②弦打地区幼保一体化 ③大規模改修工事及び設計業務委託 ④旧浅野幼稚園解体工事 ⑤電気工作物改修 ⑥計画修繕工事等 ⑦遊具改修 ⑧トイレ改修 ⑨児童福祉施設整備事業利子補給費	①605,231千円 ②19,702千円 ③340,299千円 ④89,669千円 ⑤14,000千円 ⑥8,000千円 ⑦10,000千円 ⑧10,000千円 ⑨940千円	総額	1,097,841
						特定財源	国
県	0						
市債	912,100						
他	111,000						
一般財源	45,510						

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	100 / 100 (100%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
前年度の実施設計をもとに、田井・大町地区幼保一体化施設整備事業を進めた。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
子ども・子育て支援新制度の施行に伴う民間施設の動向により需給調整を図りつつ、幼保連携型認定こども園への移行に伴う整備項目を見直し、統廃合等の整備計画を進める。						